



皆さまには、平素から徳島大学の教育、研究、社会との共創活動に対しまして様々なご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

徳島大学は、未来を見据え、現在までに培ってきた知と人の財産を継承し、新しい時代と社会の課題に応える教育・研究の充実を図って参ります。徳島大学が将来にわたり「人、地域をはぐみ未来をつくる」活動を精進していくには、長期的に安定した財産基盤の強化、基金の充実が不可欠です。教職員はもとより、卒業生、学生のご家族をはじめ、個人、企業、団体などの皆さまにおかれましては、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



申込方法、税制上の優遇措置など、詳しくはこちら

徳島大学基金の取組

学生団体支援チャリティーイベント表彰式・懇談会開催

(2024年2月20日 新蔵キャンパス日亜会館にて開催)

本学の学生団体の活動を広く認知・共感いただき、活動を応援していただく機会として2023年10月23～29日にオンライン上でチャリティーイベントを開催しました。最終的に卒業生や父母等の皆さまや各企業さま等、4,893名の皆さまから応援とご支援をいただきました。改めてご参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。学生団体の活動支援のため、大切に使わせていただきます。また、2月20日には学生団体支援チャリティーイベント表彰式・懇談会を学生と役員等で開催しました。懇談会では学生からチャリティーイベント開催のお礼や感想、自団体活動の近況や取組などについての意見交換の機会となりました。本学では、引き続き皆さまの温かいご声援をいただきながら学生団体活動の支援を続けて参ります。



詳細はこちら

イノベーションプラザ「イノベ20周年事業基金」

(徳島大学基金プロジェクトサイトにて2025年3月31日まで実施)

2004年に立ち上がったイノベーションプラザ(通称イノベ)は2024年に20周年を迎えます。「イノベーションプラザ」の目的は、ものづくり教育を基礎としながらも、解決困難な課題に対して新規アイデアを創出し、それを社会へ実装することで課題解決を行うことができる真のイノベーション人材の輩出を図ることです。

目的を達成するために、学生の創造性とアントレプレナーシップを育成するイノベーション教育手法と学習達成度評価法の開発を行うとともに、その成果を学内外に情報発信し、イノベーション教育の推進を支援していきます。ものづくりを軸に繋がってきた学生プロジェクトを未来に向けて紡いでいくため、そしてイノベの活動を在学生、卒業生と繋がっていく場になるために温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



イノベ20周年事業基金

ご寄付を頂いた皆さま (五十音順) 2023年10月から12月までの間に、徳島大学基金にご寄付いただいた皆さまのご芳名を紹介させていただきます。ご支援、誠にありがとうございました。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|---------|
| 安齋 真弥 様 | 伊藤 圭一 様 | 居平 典久 様 | 岩崎 栄次 様 | 上殿 紀夫 様 |
| 河田 純 様 | 河村 かほる 様 | 北村 真由美 様 | 呉 恒 様 | 春藤 健一 様 |
| 染井 隆光 様 | 高木 宏典 様 | 田中 敏 様 | 谷崎 憲佑 様 | 西田 憲司 様 |
| 野口 道子 様 | 早川 堯夫 様 | 平岡 大作 様 | 本田 孝雄 様 | 眞鍋 佑都 様 |
| 丸尾 慎之助 様 | 山口 勝己 様 | 山口 敏彦 様 | 芳村 敏夫 様 | |

ご支援いただいた皆さまのご芳名につきましては、徳島大学公式ホームページでも掲載しております。徳島大学では、学生の修学や課外活動等が充実していくよう引き続き学生に寄り添い支援していきます。今後も、徳島大学の取組および徳島大学基金の充実にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



徳島大学基金寄付者のご紹介

【お問合せ先】徳島大学総務部未来創造課 Tel: 088-656-9979 E-Mail: dosokikink@tokushima-u.ac.jp

編集後記

歯学部 教授 岩崎 智憲

新生の皆さん、徳島大学への入学おめでとうございます。期待に膨らみ始まった大学生活は楽しい反面、これまでと全く違った世界であるために、いろいろな事で戸惑うことが出てきます。とくとtalkはそのような皆さんに、学生生活の支援になるような情報を提供していく冊子です。また、大学での様子を知る機会の少ないご家族の皆さまへは、少しでも大学内部の情報を提供させて頂くことが本誌のねらいでもあります。本誌は年に4回の発刊の季刊誌ですが、過去のものも徳島大学のホームページにアーカイブされています。こちらからも多くの情報を得て、有意義な学生生活をお過ごしください。

徳大広報とtalk No.195をお読みいただきありがとうございます。ご意見ご感想は下記にお寄せください。
発行: 徳島大学総務部未来創造課 〒770-8501 徳島市新蔵町2-24
Tel: 088-656-7646 E-mail: koho@tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk
発行日: 2024年4月 本誌は年4回(4月、7月、10月、1月)発行



アンケートはこちら



とくとtalkバックナンバー



特集

新入生 歓迎号

Fly to your dream

学長あいさつ P1 徳島大学長 河村 保彦

私たちも応援します P2

同窓会からのメッセージ P3

2024年度
徳島大学学年暦及び行事予定 P4

キャンパスマップ常三島・石井地区 P5

キャンパスマップ蔵本・新蔵地区 P7

My Campus Life P9

大学院創成科学研究科 理工学専攻 2年 戸田 貴大
歯学部 口腔保健学科 2年 川畑 蓮

海外体験記 P10

大学院薬学研究科 創薬科学専攻 3年 小林 大志朗

研究室へようこそ P11

バイオイノベーション研究所 / 生物資源産業学部 教授
三戸 太郎

最先端研究探訪 P12

医学部 教授 野間口 雅子

徳大ニュース / 奨学金のご案内 P13

徳島大学基金 / 編集後記

●学長あいさし

徳島大学で始める 「人生100年時代の学び」

徳島大学長 河村保彦（かわむらやすひこ）



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。この4年間は、新型コロナウイルス禍で厳しい高校生活や受験生活を過ごされました。しかし、晴れて徳島大学へ入学され、大学生活の夢を膨らませていることと思います。そうした皆さんに、これから始まる大学での学びについて述べたいと思います。

最近新型コロナウイルス禍が収まり、通常の生活が復活しています。しかし、能登半島地震や世界各地の戦乱で人々は苦境に喘いでいます。こうした状況は他人事ではありません。そうした厳しい状況に関して、私たちの問題は、いつの間にか世界を支配しているかのように思い込んでしまったところにあるのではないかと危惧します。私たちはそうした過信に気づき、より良い未来を提示し、実現する必要があります。

り方（哲学や心理学）なども知っておく必要があります。また今では、AI（人工知能）や地球環境などの知識も分野を問わず必要とされます。一方、社会に山積する課題には受験参考書のように正解がありません。そのため、単に教科書や参考書に書いてある知識を身につけるだけではなく、教職員や友人をはじめとした幅広い人々とのディスカッションを通じて、論理的な考え方を身につけることが大切です。同時に、皆さんはグローバルに活躍することが当たり前となります。したがって、グローバルコミュニケーション力も必要です。その際、自国の文化や歴史が語れる力も基本的な人間力の一つとして必須になります。

以上、専門以外にも多くの学びが必要となりますが、学ぶことは他では得られない知的充足感をもたらしてくれます。皆さんは、これからどうか生涯「学び続ける」ことを念頭に置いて、徳島大学の学びをスタートしてください。ご健闘を心から祈ります。

私たちも応援します 学生の皆さんがよく利用する施設を紹介します。

附属図書館

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。附属図書館は皆さんが大学での学習・研究活動を行う場として、様々な資料や設備を用意しています。幅広い分野・テーマをサポートできるよう、入門書や一般書から専門書まで多様な資料を揃え、学習のための座席や個室、グループディスカッションやプレゼンテーションができるスペースなどの設備も整備しています。その他、各種講習会やイベントなど、大学生活が充実したものになるよう支援するサービスも積極的に行っています。これから始まる徳大生としての学生生活が有意義なものとなるよう、附属図書館の資料、設備、サービスを存分にご活用ください。皆さんのご来館をお待ちしています。



キャンパスライフ健康支援センター

ご入学おめでとうございます。キャンパスライフ健康支援センターは3つの部門があり、皆さんの心身の健康をサポートしています。保健管理センターは、医師や保健スタッフが在籍している「保健室」です。心身の不調やけがをした時には、診察・処置・相談を受けられます。総合相談室は、「カウンセリングルーム」です。臨床心理士・公認心理師の資格をもつカウンセラーに、どのような悩みでも相談をすることができます。アクセシビリティ支援室は、「合理的配慮の支援室」です。病気や障害が原因で、修学に困った際にお越しく下さい。必要な連携・支援について医師が相談に応じます。長い学生生活では誰でも体調不良やうまくいかない時が出てきます。そのような時は、当センターを利用して、楽しい学生生活を過ごしてください。いつでもお待ちしております。



キャンパスライフ健康支援センター 公式ホームページ

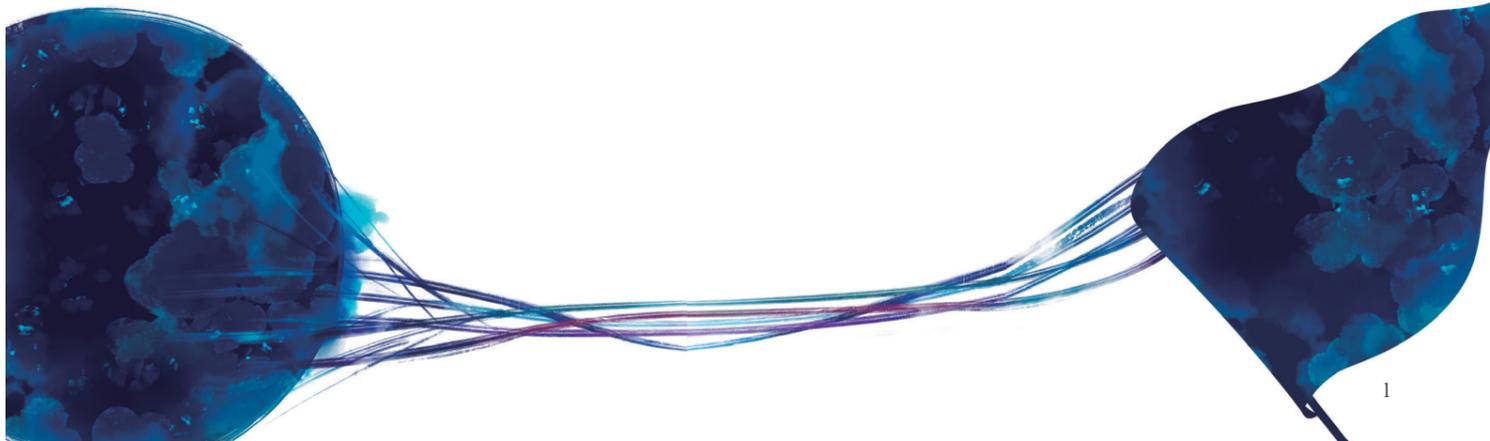
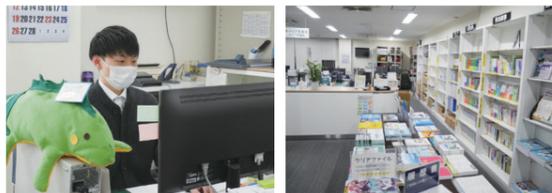
情報センター

新入生の皆さん、徳島大学へようこそ。恐らくほとんどの皆さんがスマホとPCを携えて入学されたのではないかと思います。本学では数年前から学生自身でPCを所有して入学してもらうBYOD (bring your own device) 方向に舵を切りました。これは、一人ひとりが自身のPCを学修に活用するために何をすればいいか考えること、情報セキュリティやトラブルを自身で能動的に対処するスキルを養うことの2点において重要な決断だったと思っています。情報センターは皆さんのPC利用に関する支援も行います。まずは自身で考え、行動してもらおうが一番ですが、解決に至らない場合、当センターの窓口やE-mail、チャットボットなどに相談してください。ぜひ自身のPCを十分使いこなして、スマートなキャンパス情報ライフを過ごしてください。



キャリア支援室

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。キャリア支援室は、就職活動に関わらず、進路や自己実現といったキャリアに関することであれば、学部や学年を問わず幅広く利用していただくことができます。履歴書やエントリーシートの添削、面接練習などで利用する方が多いですが、ちょっとした不安や相談があればお気軽にお越しく下さい。これから多くの方が関わる就職活動は人生の大きな分岐点であると同時に、自分を見つめ直し、新たな道に踏み出すチャンスでもあります。そんな大変な時期だからこそ、弱音を吐きたくなくなることがあるかもしれません。そんな時はキャリア支援室で息抜きをしてはいかがでしょうか。



4月・5月

- 前期開始(4月1日)
- 春季休業(4月1日～5日)
- 新入生オリエンテーション ほか(4月1日～9日)
- 入学式(4月5日)
- 前期授業開始(4月10日)
- 五月祭(5月26日)

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、例年5月下旬頃に開催しています。ステージ、模擬店、球技大会などで交流の輪を広げます。



入学式



五月祭

6月・7月

- 四国地区大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立大学(短大を含む)の学生が参加します。なお、大会開催県は、これまで四国4県で順に担当していましたが、2024年度からは4県で分担する予定です。



四国地区大学総合体育大会



8月・9月

- 夏季休業(8月1日～8月31日)
- 科学体験フェスティバル in 徳島(8月3日・4日)
- オープンキャンパス(8月上旬～下旬)
- 阿波おどり(8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(おどりのグループ)が参加します。



科学体験フェスティバル in 徳島



阿波おどり

10月・11月

- 後期開始(10月1日)
- 大学祭(蔵本祭10月26日・27日 / 常三島祭11月2日・3日)

本年度、常三島祭は第72回、蔵本祭は第40回を迎える、本学の課外活動としては最も歴史的かつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向を凝らした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。なお、2024年度の常三島祭は、開学記念日の開催となっています。



常三島祭



蔵本祭

2月・3月

- 卒業式・修了式(3月25日)
- 学年末休業(3月25日～3月31日)
- 後期終了(3月31日)



卒業式・修了式



青藍会 医学部医学科同窓会

ご入学おめでとうございます。青藍会は「会員相互の親睦と母校の発展に寄与」することが目的です。昨年より学生諸君も会員としてお迎えし、総数は7439名(含学生会員684名)、全国14支部を擁する組織です。会員の情報交換、会報発行、教育支援、研究会、講演会開催ほか、在学時から卒業後までの支援を行っています。皆さまの入会を心より歓迎します。

連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学医学部医学科同窓会青藍会事務局
Tel: 088-633-7109 Fax: 088-633-3180 E-mail: seiran@tokushima-u.ac.jp
URL: <https://www.seirankai-tokushima.jp/>



ご入学おめでとうございます。睦眉会は、徳島大学医学部保健学科、同大学院保健科学研究科、ならびに前身校を含めた同窓会です。1996年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会(写真・2023年度睦眉会総会)や講演会の開催などを行なっています。会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。現在の会員数は、7755名です。

連絡先 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学医学部保健学科内睦眉会事務局
Tel / Fax: 088-633-9067 E-mail: mutsumi.jim@gmail.com
URL: <https://mutsumi.web5.jp>



ご入学おめでとうございます。薬学部は昨年創立100年を迎えましたが、薬友会は同窓生の交流と母校の支援を目的に活動しています。全国に8支部を置き、同窓会・支部会の開催支援や、薬学部と共同で講演会・ホームカミングデーの実施、さらに同窓会誌や会員名簿の発行を通じて、世代を超えた結びつきを応援しています。

連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1 徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel: 088-633-7292, 088-633-7250 Fax: 088-633-9517
E-mail: reunion-ph@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

7つの同窓会と徳島大学をつなぐ「徳島大学びざん会」

Facebook

同窓会、大学のイベント、卒業生・修了生・学生・職員も活動や取組を発信しています。



総合科学部及び大学院へのご入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。清水会では、優秀な学部生及び院生に「清水会会長賞」を贈ったり、研修会に助成を行うなど、会員の活動支援に努めています。学部の歴史や清水会の活動状況、同窓生の活躍は、会報やホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部内清水会事務局
Tel: 088-656-7293 Fax: 088-679-8485
E-mail: info@isuikai.jp URL: <https://www.isuikai.jp/>



栄友会は、徳島大学医学部医学科栄養学科(旧栄養学科)、及び同大学院栄養生命科学教育部、研究科の卒業生、在学生、教職員で組織された同窓会です。徳島本部、東日本、関西、そして九州・山口県に支部組織があり、会員数は3263名です。総会・支部会、阿波踊り、同窓会報や会員名簿の発行を通じて、会員の皆さまの交流を支援しています。

連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学医学部医学科栄養学科内栄友会事務局
Tel: 088-633-7093 E-mail: eiyoukai@tokushima-u.ac.jp
URL: <http://eiyo.jimdo.com/>



ご入学おめでとうございます。蔵歯会は1990年に発足し、現在の会員数は2371名です。学生の皆さまは準会員となります。会報や会員名簿の発行を通して交流を支援しています。全国の支部長による支部説明会や学術セミナー、女性会員の会「藍の会」を通して入学時から生涯にわたり、皆さまのサポートをいたします。

連絡先 〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学歯学部内蔵歯会事務局
Tel: 080-6392-7362 E-mail: kurashikai7362@gmail.com
URL: <https://www.tokudai-d.net>



ご入学おめでとうございます。充実した大学生活を送られることを願っております。工業会の設立は1933年で、現在の会員数は約3万人です。皆さまは準会員となります。全国に18もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流が活発に行われています。このネットワークは皆さまの将来の就職活動や就職後も頼もしい味方となります。

連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学理工学部内工業会事務局
Tel / Fax: 088-656-5432 E-mail: office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/>



- ① 教育研究棟1
- ② 教育研究棟2
- ③ 教育研究棟3
- ④ 教育研究棟4
- ⑤ 先端畜産システム開発施設
- ⑥ 創薬・医療機器開発施設
- ⑦ 施設野菜温室
- ⑧ ヴォルテックス棟



地域創生・国際交流会館
 地域社会の国際化や地域課題の解決を支援する場及び学生、教職員の国際化を強力に推進するための拠点となる施設です。

多言語交流コモンラウンジ [1階]
 多言語・多文化交流イベントを開催しています。

英語学習コミュニケーションプラザELCS(エルクス) [2階]
 英語学習のためのプログラムを多数開催しています。

語学学習相談コーナー [2階]
 英語学習コミュニケーションプラザ内で語学の学習支援を行っています。

Global Space Josanjima [4階]
 留学情報等を得るならここへ

インターナショナルオフィス・国際課 [4階]

フューチャーセンターA.BA [5階]
 イノベーションプラットフォームとして利用しています。



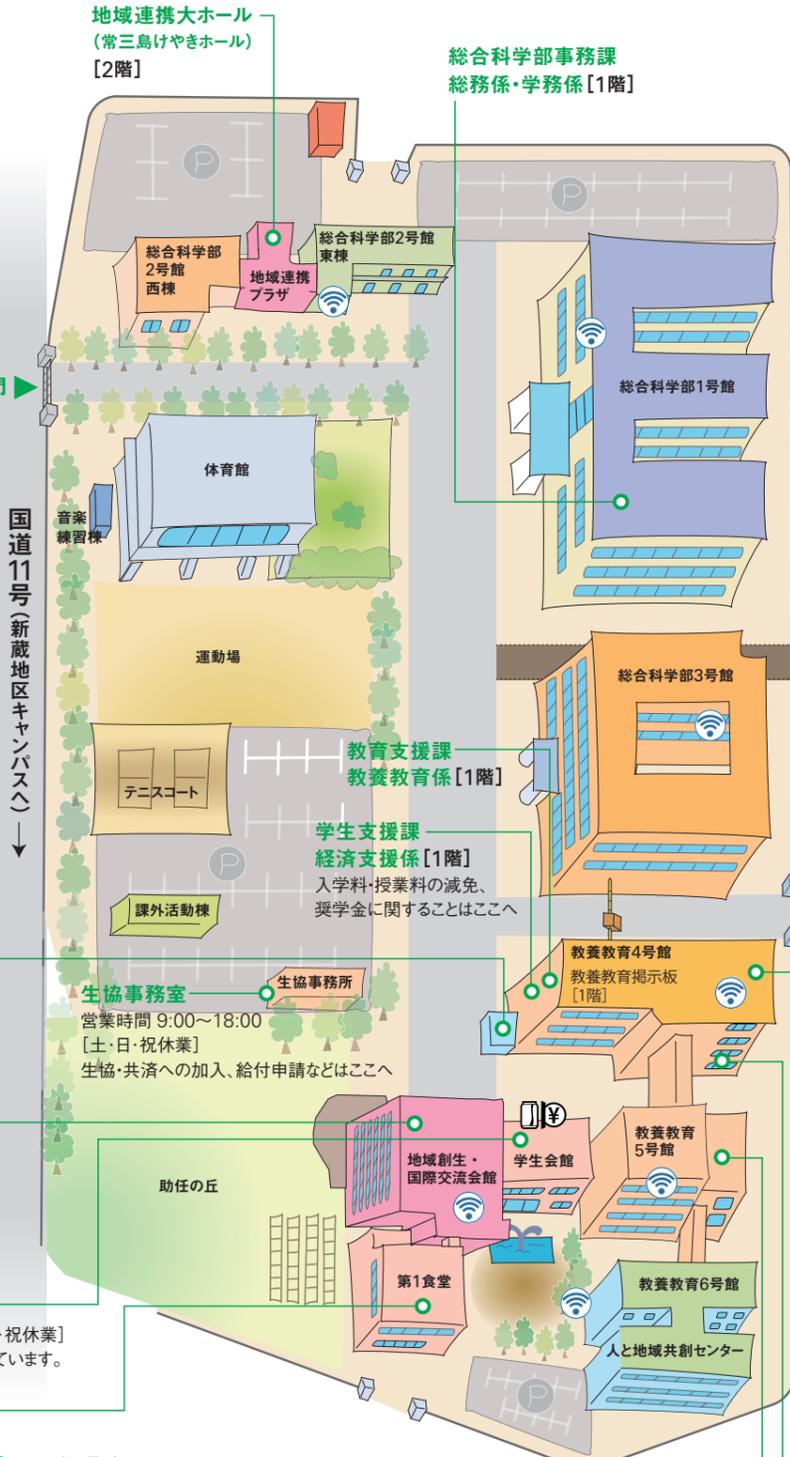
生協 Dining キララ
 営業時間 8:00~20:00
 [土] 11:30~14:00
 [日・祝休業]

K's Bakery
 10:00~14:00
 [土・日・祝休業]



地域連携大ホール
 (常三島けやきホール)
 [2階]

自習スペース
 総合科学部1号館1階及び3号館東1~3階
 (授業・講演等に使用する場合があるのであいている時のみ)
 設備: 机、椅子、自動販売機
教養教育院学生自習スペース
 教養教育5号館2階/
 設備: 机、椅子、PC充電式ロッカー、自動販売機



国道11号(新蔵地区キャンパスへ)

総合科学部正門

理工学部正門

キャンパスライフ

健康支援センター [1階]
 [平日] 8:30~17:15
保健管理センター(保健管理部門)
 病気、けがの場合はここへ
 メンタルヘルス相談もしています。
総合相談室(総合相談部門)
 困り事、悩み事などの相談はここへ

キャリア支援室 [1階]
学生支援課キャリア支援係
 キャリアのことや就職に関する相談はここへ
学生支援課学生支援係
 学生の相談や課外活動、福利厚生に関する相談はここへ
アクセシビリティ支援室 [1階]
 [平日] 8:30~17:15 障がいを持つ学生の修学支援はここへ

自習スペース
自習エリア ■ 共通講義棟2~6階: 中央エレベータ前エリア。エアコン完備。
 机・椅子(合わせて100名分)1階、4階に自動販売機(飲料)
 ■ 総合研究実験棟1・2階: エレベータ前リフレッシュコーナー/
 設備: 机、椅子
履修相談室 ■ 共通講義棟3階西端
その他 ■ カフェテリア / 設備: 机、椅子
 ■ 学生会館1階 / 設備: 机、椅子、雑誌

情報センター
 パソコン利用時間
 [平日]
 2F 8:30~18:00
 3F 8:30~18:00
 ※授業中は利用不可

総合科学部 理工学部
生物資源産業学部

常三島地区

キャンパスマップ

Josanjima Campus Map

生協creA(クレア)
 営業時間
 [平日]
 11:30~14:00
 (L.O.13:30)
 [土・日・祝休業]



カフェテリア
 食事、自習等自由に使用できます。

生協ミニショップ Emi*re(えみり)
 [1階]
 営業時間
 [平日]
 11:00~14:30
 [土・日・祝休業]



中庭
 [キャンパスモール]



理工学部事務課
総務係・予算管理係・学務係
 [1階]

シンボルストリート



生物資源産業学部事務課
総務係・学務係 [2階]
大学院創成科学研究科理工学専攻
国際連携教育研究センター [3階]

附属図書館
 開館時間[平日]8:30~22:00
 [土・日・祝]10:00~17:00
 学習・パソコン利用



市道

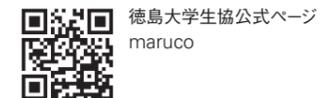


生協CAFE San-Jyo(さんじょ)
 営業時間 [平日] 11:00~14:00
 [土・日・祝休業]



工学部
創立50周年記念公園

生協の営業時間は変更する可能性があります。
 最新の営業時間はこちらをご確認ください。(常三島地区、蔵本地区)



徳島大学生協公式ページ
 maruco

新蔵地区
キャンパスマップ
Shinkura Campus Map



日亜会館
1階: ガレリア新蔵
徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。ギャラリーフロアには可動式の展示パネルがあり、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

3階: 放送大学徳島学習センター
4階: 留学生宿舍



薬学部スタジオプラザ [1階]
インフォメーションプラザ [1階]
長井長義博士の像、資料が展示されています。
薬学部事務課 総務係・学務係 [1階]

[1階]
生協キッチン SAKU-LA (さくら)
営業時間 [平日] 7:50~19:00 [土・日・祝休業]
生協コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 9:00~18:00 [土・日・祝休業]
生協書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょころ)
営業時間 [平日] 9:00~18:00 [土・日・祝休業]



キッチン SAKU-LA

[2階]
事務室
バッド等の無料貸出、体育館・各部屋の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00
※時期・曜日により時間帯が異なります。

国際課蔵本分室
[平日] 9:00~17:00

Global Space Kuramoto
[平日] 9:00~17:00
留学情報等を得るならここへ。

キャンパスライフ健康支援センター
[平日] 8:30~17:15

蔵本保健室(保健管理部門)
病気、けがやメンタルヘルスの相談はここへ。

総合相談室(総合相談部門)
困り事、悩み事などの相談はここへ。



コンビニ LUCK-LA



書籍・文具・PC SHOKO-LA

自習スペース

医学部
[医学科] (学年指定)
■ クリクラ控室 / 臨床講義棟1階
■ チュートリアル室(12室) / 医学基礎B棟3・4階
■ 学生自習室(3室) / 医学基礎B棟3階
■ クリクラ控室 / 医学臨床B棟1階
■ クリクラ控室 / 医学臨床A棟2階

[医科栄養学科] ■ 学習支援室 / 栄養学棟2階
[保健学科] ■ 看護学専攻学生自習室 / 保健学A棟1・5階
■ 放射線技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟3階
■ 検査技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟5階
■ 学生自習室 / 保健学C棟1・2階
歯学部 ■ 学生自習室 / 歯学部棟2階
薬学部 ■ スタジオプラザ / 薬学部実験研究棟1階



生協Cafeteria
KURA-LA (くらら) [1階]
営業時間 [平日] 8:30~18:00 [土・日・祝休業]



医歯薬学共創プラザ
勝沼信彦
記念ギャラリー [1階]

県道



附属図書館蔵本分館
開館時間 [平日] 8:30~21:00 [土・日・祝] 10:00~17:00
学習・パソコン利用



歯学部事務課 総務係・学務係 [1階] / **AWAサポートセンター** [3階]
医学部総務課 [1階・2階]
医学部学務課 [1階]
すだちホール・LAWSON [1階]

タリーズコーヒー
[1階]
営業時間 [平日] 8:00~17:30 [土・日・祝休業]



天吉うどん
[1階]
営業時間 [平日] 9:30~17:00 [土・日・祝休業]



LAWSON [1階] 年中無休
営業時間 [平日] 7:00~20:00 [土・日・祝] 7:00~18:00



銀行ATM [1階]
阿波銀行 / 徳島大正銀行 / 四国銀行
営業時間 [平日] 8:45~18:00 [土] 9:00~18:00 [日・祝休業]



郵便局 [1階]
営業時間 [平日] 9:00~17:00 [土・日・祝休業]
ATM営業時間 [平日] 8:00~18:00 [土] 9:00~12:30 [日・祝休業]



厚仁会売店ボンタ [1階]
営業時間 [平日] 8:00~17:00 [土・日・祝休業]

果物店cocomero [1階]
営業時間 [平日] 8:30~15:00 [土・日・祝休業]



美容室LUCE [6階]
営業時間 [月・水・金] 9:00~17:00 ※休診日を除く

藤井節郎記念医科学センター [1階]
藤井節郎博士の資料が展示されています。



レストラン オリーブキッチン [11階]
営業時間 [平日] 9:00~16:00 [土・日・祝休業]

部活や研究に情熱を注ぎ、有意義な学生生活を送っている様子を取材しました。

海外留学の「苦」「楽」

大学院薬学専攻 創薬科学専攻 機能分子合成薬学分野 博士後期課程 3年
小林 大志朗 (こばやしだいしろう)



シュタムティッシュ



海外
体験記

私は、博士後期課程修了に必要な研究指導をレーゲンスブルグ大と徳島大の共同で実施する「コチュテルプログラム」に基づき、2022年10月から半年間ドイツのレーゲンスブルグ大に研究留学しました。なお私が徳島大学第一号の本プログラム修了生となります。私は学部3年次で研究室に配属され、思わぬ発見に心躍らせながら研究に邁進し、気づけば博士課程まで進進していました。研究課題を進めるなか、私は自身の思考の偏りに気づき、「一度研究環境・内容を大きく変えたい」との強い思いから、研究内容の異なる研究室への海外留学を決心しました。そのなかでドイツの研究室を選んだのは、テーマが面白かったことはもちろんですが、欧州の風景・暮らしに興味があったことが決め手でした。期待に胸を膨らませながら迎えた留学生活、その実態は想像以上に過酷な日々でした。

留学生活における苦勞

一番に痛感したのが、「英語圏外での英語学習の難しさ」です。ドイツ人の英会話力は高く、大学生活では英語を常用すると耳にしていたこともあり、私は「英会話力は渡独すれば自然と身につくも

の」と安直に考えていました。実際は、同僚の多くが通常ドイツ語で話し、英語力向上には自ら英語を使う機会を模索する必要がありました。そんな中、お世話になったのが「シュタムティッシュ」と呼ばれる日本語を学ぶドイツ人の集まりです。これはビール片手に言語交換ができるフランクな場であり、私の英語力向上の大きな助けとなりました。研究生活では、英語もままならない中、全く新しい研究課題を始めたため実験のシステムから研究戦略まで常に勉強の日々でした。ここでは研究室の同僚に大変助けられました。ただ、初めは英語も拙く、解釈違いでの失敗もあり、度々ドイツ語で厳しく詰められたことは今でも忘れられません。

留学生活における楽しさ

「異文化に触れること」、これはよく言われる留学の醍醐味ですが、例にもれず私も「こういうことか」と痛感しました。研究生活で大きく感じたギャップは、実験の役割分担がしっかりなされていることです。渡航先では有機反応の開発・化合物の合成が主題でしたが、そこで必要となる化合物分析や試薬調製などのサポートに特

終わりに

本留学は、苦勞もありましたが、それを差し引いて有り余るほど充実した日々でした。特にこれまでのコミュニケーションが一掃され、新たな出会いばかりの毎日は刺激的で視野を広げることに繋がりました。これらを通して、海外留学は、特定のメリットを求めずとも経験そのものに価値があると感じました。末筆ながら、本派遣に協力していただきました大学関係者の皆さま、また金銭的支援を賜りました



ノイシュヴァンシュタイン城



よく昼食を共にしたインド人の友達



ファッションというお祭り

日本学術振興会に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

常三島キャンパス

好きなことを続けながら多方面に挑戦し、充実した学生生活を

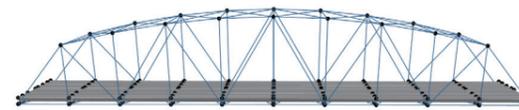
大学院創成科学研究科 理工学専攻 2年
戸田 貴大 (とだたかひろ)



学部生の頃は建築、大学院生では土木に関する研究を行った戸田さん。ガラッとテーマを変えたのは「建築と土木のどちらでもできる環境をいかし、両方やっておけば就活に有利」と思ったから。両方を学んだことで知識の幅も広がる土木への関心も深まり、ゼネコンへの就職も決まりました。

課外活動は好きなバスケを中心に交流を広めたそう。常三島のバスケ部に入部後、蔵本のバスケサークルにも

参加(医・歯・薬系の部活はその学科の人しか入れませんが、サークルは常三島でも蔵本でも入部可能)。加えて社会人のバスケサークルにも所属し、年代も職業も違う様々な人との出会いが刺激になったといいます。「新入生にアドバイスを送るとしたら、何かしら続けることが学生時代のエピソードになる。好きなことを続けながら、多方面に挑戦することで学生生活が充実すると思う」と話しました。



修論は吉野川橋を対象に構造解析の効果的手法を探る『鋼トラス橋のリダダンシー評価における二段階線形静的解析手法の提案と検討』として発表したそうです。

蔵本キャンパス

歯科衛生士を視野に入れ、勉強も部活も奮闘中

歯学部 口腔保健学科 2年 川畑 蓮 (かわばたれん)



「将来についてまだ漠然としています。歯科衛生士を目指しています」という川畑さん。男性の歯科衛生士は珍しく、2023年時点で全体の1%以下というデータも。そんなマイノリティな仕事に注目しているのは「もともと医療に興味があり、中でも変わったことに挑戦してみたい」という思いから。「大学で学ぶことのひとつひとつが将来に直結する手ごたえがあり、高校までの勉強とは違うおもしろさがあります。実習では細かな作業も多く、手が疲れてしまうこともあるんですが、指先の動きを少し工夫するだけで大きな変化があり、そうした点にも楽しさがある」といいます。

部活は歯学部ゴルフ部に所属。大学入学時からゴルフを始め、部長を務めています。「うまくなりたい人が真剣に練習できる場であると同時に、サークルとして楽しめる場、行きたいと思える場であることを大切にしています」。現在、新入部員、募集中です!

歯学部ゴルフ部 SNS



X (旧 Twitter)



Instagram

未利用のバイオマス資源として活用した新たな挑戦 食用コオロギを利用した家畜用食べるワクチンの開発を目指して

バイオイノベーション研究所 / 生物資源産業学部 教授 三戸 太郎 (みとたろう) 研究室



写真中央が三戸先生。研究室の決まりごとは、週1回の定期ミーティングへの出席とローテーションで行うコオロギの飼育当番くらいで、比較的自由にそれぞれの研究に打ち込める環境だそう。



「三戸先生は真摯に向き合ってアドバイスをくれる」と話す「グリラス」の中村さん。

特任研究員の田中さんはワクチンのたんぱく質をコオロギに発現させるための品種改良などを手掛けている。



上澄みを吸い取ってDNAの配列を増幅させ、タンパク質の遺伝子が入っているかをチェック中。



ゲノム編集に用いるコオロギの卵。

未来の貴重なタンパク源として注目される食用コオロギ。徳島大学発のベンチャー企業「グリラス」をはじめ、長年にわたり学内に蓄積されたコオロギに関するデータは、多方面へと展開しています。

三戸先生の研究室では2023年10月、研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)に採択され、「食用コオロギを利用した家畜用食べるワクチンの開発」が本格的にスタートしました。

このワクチンはコオロギに有用なタンパク質を作らせ、家畜に食べさせることで、免疫を誘発するという仕組みです。

「ワクチンとなるタンパク質をコオロギに作らせることは技術的には可能ですが、その分量については課題があります。タンパク質の量が多すぎるとコオロギに負荷がかかり、死んでしまうこともあるのですが、発現のタイミングなどをコントロールすることでワクチンとなるコオロギを大量に生産することができれば、家畜一体注射する労力もかからず、コストも抑えられます。鳥インフルエンザによる被害も甚大ですので、実用化されれば経済的損失を軽減することにも役立ちます」という三戸先生。2024年度は鳥インフルエンザを対象とした実験も始まる予定です。

研究室メンバーは約15名。ワクチン開発以外にも食用コオロギを活用しやすいよう、体の色を変えたり、栄養価を高めたりするプロジェクトも行っています。

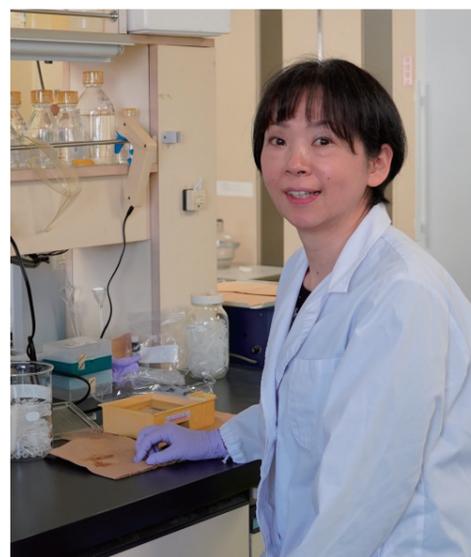
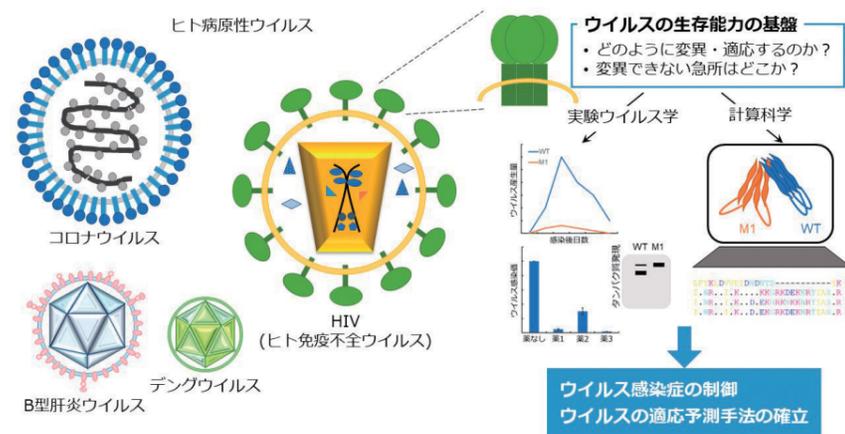
実験室は2020年に開所したバイオイノベーション研究所(BIRC:Bio-Innovation Research Center)内にあり、そこには共同研究のため「グリラス」から出向している中村雄軌さんやA-STEPの特任研究員田中優史さんの姿も。様々な人と協力しながら、「未利用のバイオマス資源として活用したい」という三戸先生の熱い思いと共に研究が進行中です。



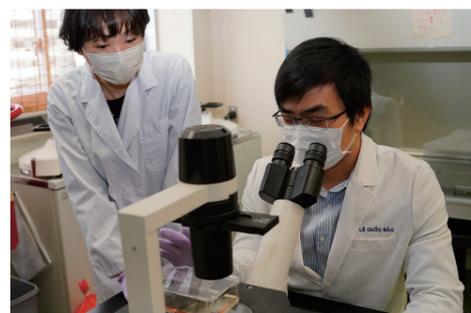
色を薄くすることで昆虫食への抵抗感を和らげることができないか、食用コオロギの体の色を変える実験も行っています。

計算科学の研究者と共同で、 ウイルスが変異できない急所を探し出す

医学部 教授 野間口 雅子 (のまぐちまさこ)



新入生へ「漫然と過ごすじゃなくて、何かに興味関心を持って取り組み、「これを1年頑張った」、「大学生活で良い経験を積んだ」と思えるような時間を過ごしてほしい」というメッセージをいただきました。



「ウイルス学は瞬発力より、コツコツちゃんと続けて持続的にやれることが大事」という野間口先生。ウイルス学に興味をもつ海外からの留学生も増えているそう。

目に見えないウイルスの脅威に翻弄されたコロナ禍。この出来事をきっかけに、ウイルスに関心をもった人も多いのではないだろうか。ウイルスは最小の生命体。しかしウイルス単体では生きていくことはできません。「ウイルスが生存し続けるためには、生き残る細胞が必要」という

野間口先生。「細胞なら何でもいわけではなく、種特異性があり、HIVウイルスなら人にだけ感染して病気を発症します。ウイルスの生存能力はその高い変異性や適応力が決まっているので、ウイルスがどのように変異するのか、どのように適応しているのかについて興味を持っています。

ウイルスの生態を調べ、知見を積み重ねることで、ウイルスの変異を予測することを目標に研究を進めています。主な研究対象はヒトの病原性ウイルス(HIVやSARS-CoV-2)ですが、今後は Dengueウイルスなどにも対象を広げていく予定だそう。ウイルスはそれぞれ固有の形状で、その構造は「めちゃくちゃキレイ」という野間口先生。この構造が壊れると感染力もなくなり、スパイク(ウイルスの表面にあるタンパク質)にウイルスにとって都合の悪いアミノ酸が1個入るだけで、死んでしまうのだとか。

新しいアプローチがウイルス感染症の予防、治療、対処の向上へとつながることが期待されます。「この研究を10年くらいやっていますが、うまく回りだしたのはここ2、3年。計算科学と組み合わせることで、実験ウイルス学だけでは見つからなかったことが見出せるようになりました。」

河村保彦学長が大学改革シンポジウム「社会人の学び どう進める」(日本経済新聞社主催)に登壇しました

1月23日、日本経済新聞社が主催する大学改革シンポジウム「社会人の学び どう進める」に本学の河村保彦学長がパネリストとして登壇しました。

シンポジウムは日経ホール(東京)およびオンラインで開催され、ジャーナリスト・名城大学教授・東京工業大学特命教授の池上彰氏がモデレーターを務められました。

パネル討論では、河村学長、日南女子大学学長の篠原聡子氏、甲南大学学長の中井伊都子氏が登壇され、社会人にとって「学び」とは何か、大学は社会のニーズにどう応えていくべきなのか等について各大学での取り組みを交えながら討論しました。

池上氏からは、地域の課題や役割に対しても質問をいただき、河村学長からは「とくしまリスキング講座」や「とくしま健康寿命からだカレッジ」等、本学の取り組みについて紹介し、本学の特色ある取組を発信する機会となりました。

令和5年度健康賞贈与式を開催しました

令和5年度の健康賞受賞者(教員12名、学生47名(うち学術研究関係24名、奨学生23名))が決定し、2月16日、長井記念ホールにおいて贈与式を開催しました。

健康賞は、公益財団法人康楽会より、本学の教員でその研究に成果のあった者及び本学の学生で学業成績が優秀である者に対し、賞状、賞金又は奨学金が贈られるもので、昭和26年に創設され、今回で73回目です。

贈与式では、各部門の代表者に公益財団法人康楽会の三木理事長から賞状、賞金及び奨学金が贈与され、受賞者を代表して大学院社会産業理工学研究所 濱野龍夫教授より公益財団法人康楽会に対して謝辞が述べられました。



健康賞受賞者一覧

本学学生が令和5年度徳島県議会表彰を受けました

2月21日、徳島県議会にて、令和5年度徳島県議会表彰式が行われ、本学からは1団体と3名が表彰を受けました。徳島県議会表彰は、スポーツ・芸術文化活動等において、優秀な成績を収めた児童、生徒及び学生を表彰し、その努力

と功績を称え励ますことにより、徳島県の次代を担う人間性豊かな人材の育成を図ることを目的として設けられ、今年はスポーツ部門が2団体と26人、学芸部門が5団体と11人が表彰され、岡田理恵徳島県議会議長から表彰状が授与されました。

- 本学受賞者
- 【スポーツ部門】(団体)
 - 徳島大学蔵本弓道部
 - (代表・平野和樹(医学部4年))
 - 第57回全日本医科学生総合体育大会王座決定戦弓道部門
 - 団体の部優勝
- 【スポーツ部門】(個人)
 - 喜多谷彩葉(総合科学部2年)
 - 第30回全日本学生スポーツチャンバラ上級生女子
 - グランドチャンピオン
 - 北垣大校(理工学部1年)
 - 第30回全日本学生スポーツチャンバラ新人男子
 - 榎小太刀の部優勝
 - 妹尾真瑚(歯学部1年)
 - 第55回全日本歯科学生総合体育大会剣道部門
 - 女子個人戦優勝

徳島大学工学部創立100周年記念誌デジタルブックを公開しました

本学工学部(2016年に理工学部、生物資源産業学部へ改組)は、2022年に創立100周年を迎えました。徳島高等工業学校から工学部、そして理工学部および生物資源産業学部へと、これまでの歩みや、2023年5月14日に開催された100周年記念式典の様子をまとめた記念誌を刊行し、このたびデジタルブックを公開しました。QRコードよりぜひご覧ください。



工学部創立100周年記念誌デジタルブック

●奨学金のご案内

日本学生支援機構奨学金

貸与奨学金には「第一種奨学金(無利子貸与)」と「第二種奨学金(有利子貸与)」があり、令和2年度より国が実施する「高等教育の修学支援新制度」として、給付奨学金制度が実施されています。定期採用の募集案内は4月上旬になります。申込から振込までの流れや手続きについての詳細はホームページをご確認ください。



徳島大学ホームページ(奨学金) https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/scholarship/scholarship.html

日亜特別待遇奨学金

理工学部の日亜特別待遇奨学金は、日亜化学工業株式会社様のご厚志により贈られた寄附金を原資として、学業、人物とも優秀な学生に対し返済義務を課さない奨学金を給付する特別待遇奨学金制度として平成17年に発足しました。詳細は理工学部ホームページをご確認ください。



徳島大学理工学部ホームページ(奨学金) https://www.tokushima-u.ac.jp/st/campus/campuslife/NICHIAsupport_scholarship.html

NICHIA
Ever Researching for a Brighter World

身近なところでNICHIAの製品は活躍しています

日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL:0884-22-2311
http://www.nichia.co.jp/



インターンシップ & 会社見学

受付中



MIMURA IRON WORKS PRESENTS
ミムラテッコウ
フェイス 真面目は見えない
アイツ 見えないアイツを
宿らせろ

建機用 ジャッキシリンダ

- シリンダ内径 | 130mm
- ロッド外径 | 100mm
- ストローク | 590mm
- 使用圧力 | 20.6MPa
- 最高出力 | 伸び側274KN/縮み側77KN

就 職活動中の皆さんに、三村鉄工を正しく知っていただき、ご応募してもらえよう、ホームページ、YouTube動画、会社案内などを作成し、できるだけ多くの情報を発信するようにしています。インターンシップや、会社説明会・見学会なども通年で受け付けています。気になる方は、ホームページまたはお電話からお申し込みください。その他、何かご質問があればお気軽にお問い合わせください!

オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」スペシャルサイト



オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」誕生秘話



MIMURA TRAINING STORY ものづくりの出発点



マイナビ2026 4月1日 公開!!



当社は香川県さぬき市で「油圧シリンダ」を専門に作っている会社です

三村鉄工株式会社
〒769-2105 香川県さぬき市末371番地6 TEL:087-894-7788(代)

You Tubeでも情報発信中



公式HPはこちら

